広報
さめがわ
平成6年
2
No.482



華やかに20歳の門出を祝う

成人を祝う「第46回鮫川村成人式」が１月15日、山村開発センターで行われました。真新しいスーツ、羽織・袴、振袖姿の新成人77人が出席し、華やかに成人を祝いました。式では芳賀村長が式辞を述べたあと、成人者を代表して山形淳一さんに成人証書が、岡部琴重さんに記念品が手渡され、斎須順さんが誓詞を述べました。また成人の感想を根本博美さんが発表し、自覚を新たにしました。

発行／編集　鮫川村総務課　〒978-04 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39の5 TEL(0247)４９－３１１１　　印刷／佐藤印刷



▲ ユングフラウヨッホで

広大な大地 感動のヨーロッパ

村では、二十一世紀をめざした人材育成と、国際的視野にたった村づくりを推進するため、平成二年度からふるさと創生事業の一つとして「ふるさと後継者育成研修事業」を実施しています。今年度は、青戸代吉さんを団長に八人をドイツ、スイス、フランスに派遣しました。研修のテーマである「農業」「環境」「老人福祉」について感想を掲載します。

参加者

青戸　代吉	（彦次郎）
芳賀　逸義	（戸　草）
前田　雅秀	（官　代）
小山田一成	（反　田）
鈴木　市恵	（新　宿）
薄葉　正勝	（名　下）
前田　真澄	（官　代）
石井　智子	（酒　垂）

日程





農業
ミュンヘン郊外の農業・農家の実態
フラウェンベルグ村の農家を訪ねて

村の概要

ミュンヘンからアウトバーンをバスで一時間三十分、村に入ると広大な丘陵（畑地）が広がり、森があってレンガ造りに赤瓦の屋根の集落が散在している村はおとぎの国の世界のようです。フラウェンベルグ村は人口三〇〇〇人、面積四四〇〇㌶、農地三九五〇㌶の、農業が主体の村です。昔から自然に育ってきた樹木や雰囲気を大事にし、総合的な美観を損なわない村づくりをしているそうです。ミュンヘン郊外に位置することから農業から他産業に移行しており、年々農家の減少、兼業化が進行しています。一九六〇年代には三三〇戸あった農家が、現在では二〇〇戸に減りその内半分の一〇〇戸は兼業農家になっています。

日中の温度差が一〇℃と変化が激しいため、畜産を主体とした経営が中心であり、村全体の飼育頭数は肉牛が八八〇〇頭、乳牛が二一〇〇頭となっています。

農家の経営、技術の指導はエルディン地区にある農業共同組合が業務として行っています。また農業共同組合では農家の指導を徹底するため、一年のうち約一か月位経営方針機械の効率化、技術面等について兼業農家の講習会を開催しています。

当地区では、最低所得目標三万マルク（約二〇〇万円）程度に考えており、兼業農家の平均規模八㌶では目標を達成できず、一五㌶以上の農地確保をすすめています。この様な現状から、西暦二〇〇〇年には農家数が、約四〇㌫減少するものと推定されています。このため、政府は離農する者に対し、農地を一㌶当り七〇〇～一四〇〇マルク（四四八〇〇～八九六〇〇円）で買い上げています。

16日	成田発 ドイツフランクフルト着	
17日	ドイツフランクフルト発 ・ローデンブルグ市内視察 ロマンチック街道を南下しミュンヘンへ	
18日	ドイツフラウェンベルグ村 ・農業研修	
18日	ドイツミュンヘン発 ・ノイシュバンシュタイン城見学 スイスルツェルンへ	
19日	スイスアルプス山脈 ・登山列車で標高三四五四㍍のユングフラウヨッホへ 国際都市ジュネーブへ	
20日	ジュネーブ市内視察 フランス国鉄が誇る高速列車TGVでフランスへ	
22日	フランスパリ ・ルーブル美術館見学 ・環境（下水道施設）研修 ・福祉（公立老人ホーム）研修	
23日	パリ市内視察 ドゴール空港発	
24日	成田着 鮫川	



▲ フラウェンベルグ村の役場会議室で

訪問農家の概要

①ラウンツェグ氏宅
・村会議員であり村の助役でもあります。
・耕地―三五ヘクタール
・労働力―夫婦二人
・作物―小麦、トウモロコシ
　ナタネ（緑肥用）
・家畜―豚三〇〇頭（餌は自給飼料を主体）

豚舎特有の悪臭は全然なかった。これは、農業共同組合の技術指導で悪臭対策として浄化槽に電極を使用し、又油性のものを投与してバクテリアを分解させる方法によるそうです。州政府の公害指導が厳しく、ふん尿をそのまま農地に還元することはできず一時地下に貯留しています。

②バルトサン氏宅
・村長を三〇年間在職
・耕地―二八ヘクタール
・労働力―息子夫婦を含め四人（実質は三・五人だそうです）
・作物―デントコーン、牧草
・家畜―肉牛七〇頭、乳牛二〇頭

肉牛は一八～一九か月（六五〇キログラム）で出荷し、年間四〇頭出荷しており、価格は一キログラム当たり三～四マルク（一九二～二五六円）だそうです。又、肉牛の年間売上が三二〇〇〇マルク（約二〇〇万）以下の場合は国の補助があります。乳牛については、日本と同様品種改良に取り組んでおり、一頭当たりの搾乳量は少なくても五〇〇〇リットルあるそうです。

この二農家はフラウェンベルグ村の標準的な農家であり、畜産については自給飼料で対応しています。広大な耕地と必要最小限の設備投資（機械の効率的利用等）により生産コストの低減に努め、EC及び政府の農業政策に疑問を持ちながらも農業共同組合の指導のもと懸命に努力している様子がうかがえました。

日本と変わらない農業事情

以上ドイツの農業事情を視察しましたが、農村の事情は根本的には日本と変らず後継者不足、経営規模、嫁不足、農産物の価格、生産調整等多くの問題を抱えているようです。

ドイツの食糧自給率は一〇〇%に近いそうですが、政府の農業政策の基本方針は「自国民の食糧は外国に依存しない」という姿勢であり、日本の農業政策とは全く逆の考えです。（そこには戦争の連続という歴史的背景がある）政府もそれなりに農業を守るための援助を行っているようです。

広大な土地と機械の共同化、設備の効率的投資により生産コストを低く抑えているヨーロッパの農産物が近い将来輸入自由化によって日本に入ってくることになれば、現在の日本の農業経営を憂慮せずにはいられません。

農業問題は内容の差はあれ、共通する問題はヨーロッパも日本も同じようです。ただ、日本の農業については現地の人達は全然関心を持っていないということが感じられました。



▲ ゴシック建築のノートルダム寺院をバックに



▲ 下水道の中で担当者から説明を聞く

環境 パリ下水道にみる環境問題

一八六四年、ナポレオン三世の時代にコレラが発生したのを機にパリの衛生状態を向上させ、セーヌ川の汚染を防止するため、当時二〇〇億フランを要し整備されました。

二一〇〇キロ㍍に達する地下トンネル、所によっては地下一三〇㍍に配管されており、セーヌ川の下を通っているところもあります。一日の処理量は三五〇万立方㍍で、施設の維持は、ナポレオン三世の時代と同じ方法で、ゴミを除去する作業は手作業で行われ、水とコンプレッサーのようなもので圧縮空気を送り作動する機械で作業を行っています。下水道内に酸素が少ないため、大型機械は使えないそうです。

下水道の中には、上水道、電気の配管があり、ビルとビルを結ぶ配管で郵便物を送っています。下水道の配管は道路と同じ名前がついていて、もし、排水口に鍵等を流してしまったときなどは道路の名前と番号、位置を言えば見つけ出してくれます。このサービスは二四時間体制により無料で提供されます。また、集中豪雨があると下水道の水がセーヌ川に流れ出してしまうので、雨水を集水する施設をパリ近郊に建設中です。これらの整備は、二〇〇〇年を目標に、セーヌ川に魚がすめるように計画されています。

下水道の維持管理の経費は、上水道一立方㍍につき一〇フランの料金のうち一フランがあてられます。

下水道で働く人たちは、二交代制、男性だけの職場で世襲制になっています。昔からの作業方法で重労働のため五〇歳定年になっています。

この下水道が今から一三〇年前に整備されたことに大変驚きながらも、技術的には、建設当時と同じ方法で現在も作業していることにフランス人のがんこさを感じました。

ここ数年、やっと下水道整備が叫ばれ、「地球にやさしい環境」をと躍起になっている日本に比べ、一世紀以上も前に行われていたのです。

私たち日本人も一人ひとりがもっと真剣に「地球の環境」を考えなくてはならないと思いました。





▲ 老人ホームで村旗を所長さんに渡し記念撮影
◀ クリスマスプレゼント作りに精を出すホームのみなさん。

▼ 室温・水温とも30℃に保たれたプールで筋力を維持



福祉 フランスにおける老人ホームの実情

今までにこの老人ホームへ日本の代議士をはじめ多数の日本人が視察に訪れています。

それだけ欧州には日本からみても、又世界的にみても進んだ福祉施設がたくさんあります。

フランスでは、サラリーマンの給料の二〇㌫を年金、保険料、失業保険などとして支払わなくてはなりません。

一九八二年以来、定年は六十歳とされ、それ以後は退職金と年金で生活しています。

欧州の人々は年老いても日本のように子供の世話になろうとはせず、自分たちは自分たちで、子供は子供たちでお互いが自立して生きています。

この老人ホームに入っている人たちは妻や夫を亡くした人たちがほとんどで、寂しい気持ちを少しでも紛らわすためであり、又新しい生きがいを見つけ出し残りの人生を楽しむため入居しています。

「死ぬときまでボケずに、自分で歩き、食事をする」というのが、このホームの方針で、生きる望みをもっている人が、優先的に入所できるということです。

今回、私たちが訪れた老人ホームは二十二年前に設立され、三年前に改装されたもので、床面積が一万平方㍍、プール、レクリエーション室、美容室、地区住民にも開放される図書館などがあり、開かれた施設になっています。

場所的にも高級住宅地の中に位置しているため、入居者の中にも、地主である人が多いということでした。

このホームは一日三一〇フラン（五五八〇円）、月に九三〇〇フラン（一六七四〇〇円）の費用がかかります。

入居者の年齢を見ると、若い人で八十三歳から八十四歳一〇〇歳の人も数人入居しています。欧州の人々はあくまで自分で生活できるうちは誰の世話にもならずに生きていることがわかりました。

今回の研修にあたり、村をはじめ、地域、職場の皆さんに感謝申し上げます。
これからも多くの方が研修に参加されることを希望し、報告といたします。

研修者一同



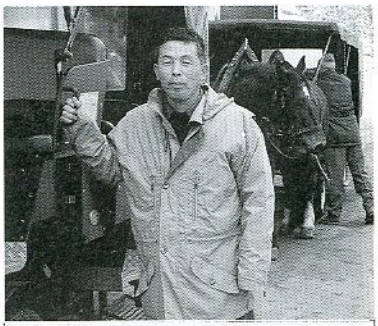
広い土地が隅々まで耕やかされているのにドイツ農業の心いきをみせられたような気がし、ヨーロッパの農業、その他一部分ではありますが、体で感じ、農家の皆さんも日本と同じ問題を抱えながら努力している姿をみてきました。

— 芳賀　逸義 —

ヨーロッパには日本人観光客が多く、まるで日本にいるような錯覚さえ覚えました。しかし同じ日本人として何度か恥ずかしい思いをしました。海外へ行くことはある意味では「外交官」です。「郷に入っては郷に従え」だと思います。

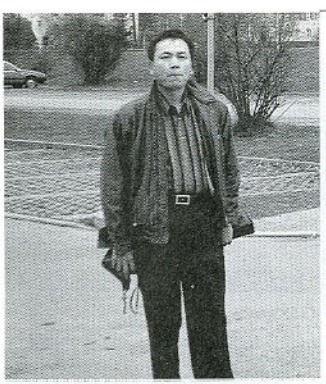
— 前田　真澄 —





ドイツの農業、農村の事情は根本的には日本と変らず、特にＥＣ経済統合後は、農産物価格の低迷により、農家経営が厳しさを増している。広大な土地と大型機械化農業をみることにより、日本農業の貧弱さを感じてきた次第です。

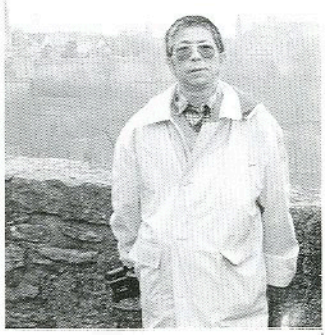
— 青戸　代吉 —



ヨーロッパの人々は冬のスイス旅行のために蓄え、雪の日を心待ちにするとか。雪をいただいたアルプスの山々の壮大な景観は息をのむ思い。天気良好、雲海の上を電車が走り、天空を行くごとし。

— 前田　雅秀 —

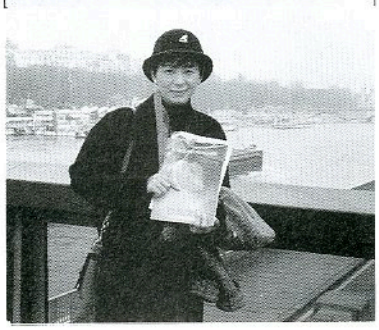
平坦で広大な農地、ドイツの広大な農地で畜産をやりたい。歴史を感じさせられる建物は、外観は絶対いじらず、内部だけしか改造できない等昔からの町並みを大事にしている。貴重な経験でした。



— 小山田一成 —

三か国を通して最も強く感じたことは、それぞれの国の伝統・文化が現代も受け継がれ、大事に保存され、それらが現代人の誇りとなっていることです。日本ではどうでしょう。足元を見直さなくては。「百聞は一見に如かず」です。

— 石井　智子 —



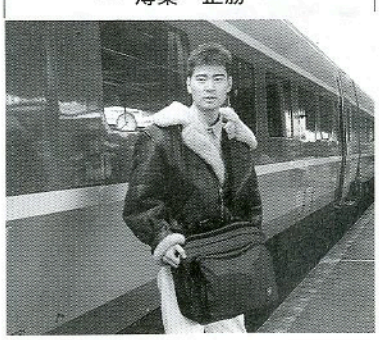


三か国とも町並みは美しく特にドイツは道路沿いに広告の看板が一枚もなく、自然の美しさを損なわないよう配慮されています。ドイツ農業はＥＣ統合後日本と同じくかなり厳しいと感じ、農作物の収穫、農作業の実態をみたかった。

— 鈴木　市恵 —

ヨーロッパの人々は古代文化をとても誇りにしていて、生活様式をあまり変えない人種で、マイペースに生きている。それは食文化、建築様式いずれにしても独特なものをかもし出している。この研修は自分の中で意義深かった。

— 薄葉　正勝 —



村営バスの愛称は〝あおぞら〟に決定

三月十九日から運行する鮫川村村営バスの愛称並びに停留所標識のデザインが決定いたしました。

村民のバスであるという意識を持っていただくため公募したところ、愛称が五十一点、デザインが二十八点の応募がありました。

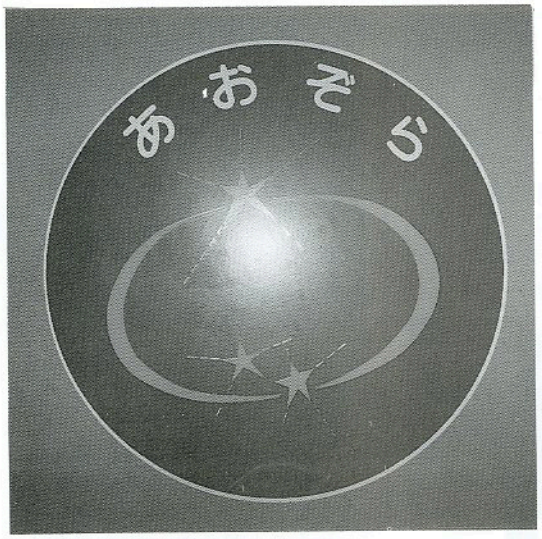
緑川助役を委員長に、選考委員会を開催し、次のとおり決定しました。

採用された方には、後日、賞品を差し上げます。

なお、村営バスの運行時刻については、別に配布いたします。

○**愛称「あおぞら」**
（進士尊主君　伊柳沢）

○**デザイン**
（鈴木悟君　道少田）



鮫川の空の色と澄んだ空気をあらわすスカイブルーに光り輝く星座〝昴〟を型どり村が一つになることをイメージしたものです。

無火災無災害を祈る

消防団出初式

消防団恒例の出初式が、一月六日山村開発センターで挙行されました。

式に先だち、消防車両三十台によるパレードで火防を呼びかけ、引き続き山村開発センター前庭で通常点検と水勢披露が行われました。

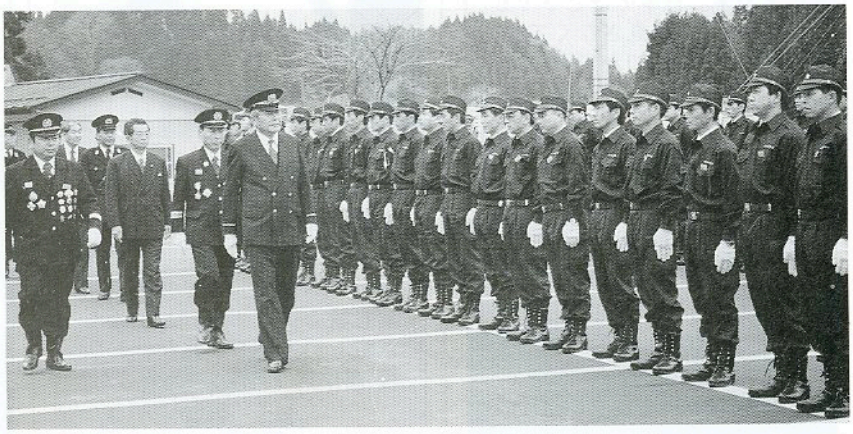
式では、無火災を祈願して全員で黙とうをしたあと、無火災分団表彰、優良団員表彰などが行われました。

席上表彰された方は次のとおりです。

◇**無火災分団表彰**
（平成5年12月31日現在）
▼第四分団（七年）
▼第六分団（三年）
▼第二分団（三年）

◇**優良団員表彰**
▼第一分団＝湯坐達雄、生田目吉康▼第二分団＝須藤一美、鈴木善康▼第三分団＝関根善徳、関根正良▼第四分団＝蛭田和彦、芳賀峰生▼第五分団＝吉田要一郎、味原寛一▼第六分団＝矢吹利光、青戸正彦▼石塚洋治





鮫川生まれの「縄文酒」
古代米（赤米）酒

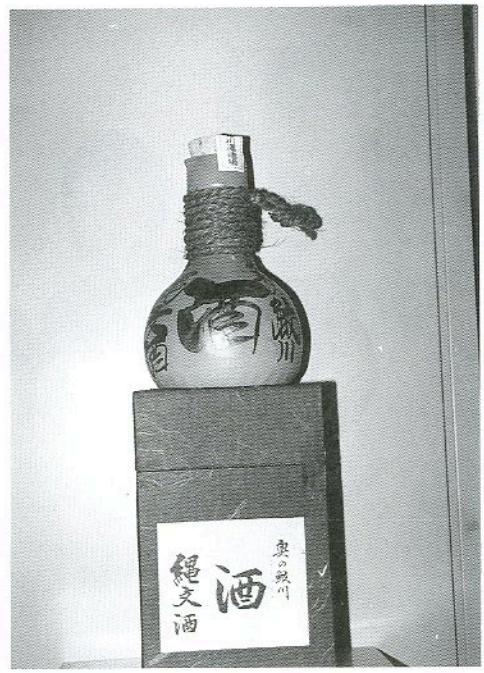
古代米を活用した、村おこし産品づくり事業での「赤来」による地酒づくりは、鮫川村ふる里振興協議会と鮫川村むらおこし酒販店会の共同で開発され、〝コク〟のあるまろやかなお酒が誕生しました。

名称と容器のデザインは広く村民の方々からの応募作品の中から選定し、既に回覧でお知らせのとおり「縄文酒」と名づけられ、古風な陶器（七二〇㍉㍑）一本三千円。

五二〇本の限定販売で、村内の村おこし酒販店で売られています。

やまぶき、しらかば、やまゆりに次ぐ村の地酒として、産品化を目指しており、土産品や贈答用に利用され、好評を得ています。

製品本数に限りがありますので、売り切れにならないうちに一度ご賞味ください。



所得の確定申告は 3月15日までに！

今年も所得の申告をしていただく時期になりました。

平成五年中の所得について申告していただくもので、所得税、村県民税、国民健康保険税の税額を決定する基礎となります。

二月十四日から三月十五日まで申告相談を受付しますので、最寄りの会場で申告してください。

贈与税の申告もお忘れなく

一年間に六十万円を超える現金等の財産をもらった人は贈与税の申告をしなければなりません。

平成五年分の贈与税の申告と納税は、二月一日から三月十五日までです。

詳しくは、白河税務署（☎〇二四八－二二－七一一一）におたずねください。

申告相談受付日程及び会場

月	日	曜日	時間	行政区分	会場
2月	14日	月	午前9時～午後4時	青生野	青生野集落センター
	15日	火	〃		
	16日	水	〃	渡瀬	渡瀬区集落センター
	17日	木	〃		
	18日	金	〃		
	21日	月	〃	富田	富田区集落センター
	22日	火	〃		
	23日	水	〃	赤坂東野石井草	東石区集落センター
	24日	木	〃		
	25日	金	〃		
	28日	月	〃	赤坂中野	山村開発センター
3月	1日	火	午前9時～正午		
	2日	水	〃		
	3日	木	午前9時～午後4時	西山	西山区集落センター
	4日	金	〃		
	7日	月	〃		
	8日	火	〃	赤坂西野	区長事務所（藤田一夫様宅）
	9日	水	〃		
	10日	木	〃		
	11日	金	〃	上記会場で申告できなかった人	山村開発センター
	14日	月	〃		
	15日	火	〃		

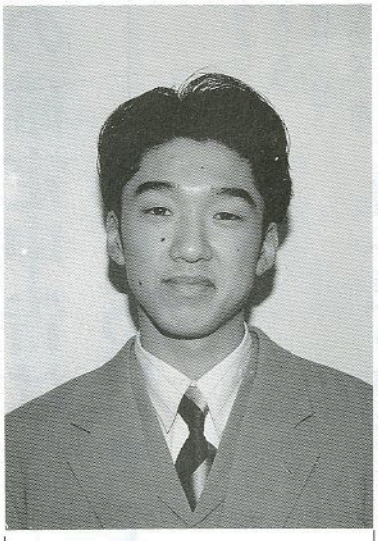
◎ 税務署から通知を受けた方は、白河税務署で申告相談をすることになります。



成人おめでとうございます

直撃インタビュー

聞かせてください。
成人の感想・将来の夢



高野　勇一さん
（発地岡）

しっかりした考えで生活したいと思います。今年は就職するので、はやく一人前になるようがんばります。



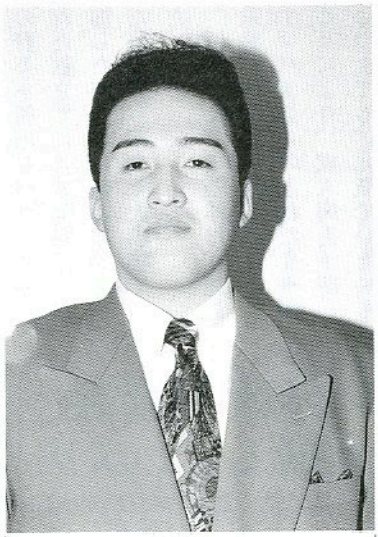
蛭田　賢一さん
（田苗下）

現在学生で川越市に住んでいますが、将来は公務員になりたいと思っています。いずれ鮫川村に戻ってきます。



岡部　琴重さん
（青生野）

一生続けられる職業として看護婦になるため、現在看護学校に通学しています。いずれは地元に戻ってきたいです。



湯坐　徹哉さん
（新　宿）

家業を継ぐため、親の手助けをして仕事を覚えています。これからは自覚をもって行動したいと思います。



霜田　昇子さん
（前折戸）

やっと一人前に認められるのでうれしいです。誰からみられても恥かしくない大人になりたいと思います。



松本　　英さん
（鍬木田）

自覚を新たにしています。親からも自立して立派な大人になりたいと思います。現在調理師として働いていますがんばって一人前になります。



蛭田　晴美さん
（大　房）

将来看護婦になるため、現在看護学校に通学しています。今日は久しぶりにみんなに会えてとてもうれしいです。

保健婦です

こんにちは

伝達講習会 各地で開催

村内各地区で保健推進員さんによる伝達講習会が開かれています。

一月十六日西山地区、一月二十八日東石地区で開かれました。各地区とも、季節の野菜を利用しバランスのとれた献立てによる実習で、参加した方々から是非作ってみたい等の声が多く大成功でした。

健康づくりの基本は、運動栄養、休養だと言われています。バランスのとれた食事の普及により、成人病を予防しいつまでも、元気でいたいものですネ。



現代の食を考える 食生活改善講座

一月十二日、食生活改善講座が開催されました。

「現代の食を考える」というテーマで会津大学短期大学部食物栄養学科助教授、緑川英子先生に講話をしていただきました。

調理実習では、「手軽にできる中華料理」ということで、エビのチリソース、シューマイ、青梗菜（チンゲンサイ）のピーナッツあえ、せりごはんを本多史子栄養士さんに指導していただき、作りました。中華料理が身近な材料で簡単にでき、好評でした。

たっぷりカロリー摂取したあとは「健康づくりと運動について」健康運動指導士の仲川照子保健婦さんよりお話しと、室内で手軽にできる運動ストレッチの指導をうけ、気持ちいい汗を流しました。



健康相談会 開催しています

寒くて、こたつにばかり入っていませんか？たまには集会所に集まって、みんなでワイワイ・ガヤガヤ話しをしたり、体を動かしてみてはいかがでしょうか！

村では1月18日から2月28日まで村内26か所で健康相談会を開催しています。今後の日程、場所については、別表のとおりです。同報無線でもお知らせしています。



〈健康相談会日程表〉

月　日	午前の会場 午前9時30分～11時30分	午後の会場 午後1時30分～3時30分
2月14日（月）	折戸集会所	大平集会所
2月15日（火）	落合集会所	官沢集会所
2月17日（木）	鍬木田 反田集会所	中沢公民館
2月21日（月）		前沼集会所
2月22日（火）	切払集会所	真坂公民館
2月25日（金）	大塩集会所	熊野集会所
2月28日（月）	さぎり荘	

生活環境と福祉を考える！



昨年の十二月十九日、鮫川村婦人講座の第二回講座を実施し、生活環境問題及び福祉問題について学習しました。

二十七人の参加を得て、最初に塙町の東白川地方町村衛生処理組合のゴミ処理施設を見学し、一般家庭から持ち込まれるゴミ処理方法や分別回収の仕方、リサイクルなどについて研修を深めました。休日のため実際のゴミ処理の様子は見学できませんでしたが、事務主任の星幸男さんの説明と集中コントロール室の見学によりその一端を知ることができました。

年々消費生活の拡大によりゴミの量も増大し、その処理に膨大な費用が費やされています。鮫川村のゴミの量は比較的少ない方ですが、今後コンポストの普及や各家庭の努力によりさらにゴミを減少させることが可能です。

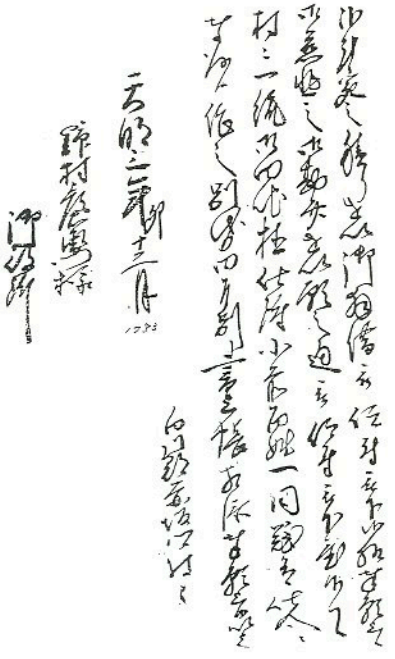
次に棚倉町の特別養護老人ホーム「寿恵園」を慰問しました。

この施設で寮母として勤務されている松本弘子さん（大字富田字鍬本田）に施設内を案内してもらいました。恵まれた環境の中でお年寄りが安心して暮らせる施設設備に関心させられると共に、これからの高齢化社会を考える上で施設の果たす役割の大きさを深く認識させられました。

史・資料を探る

天明三卯年種籾拝借願書

村史編さん室



「当卯田方の義大凶作につき御検見入願い上げ奉り、御廻村の上御覧遊ばされ候通り」という文言で書き出されている赤坂東野村文書により天明三年大凶作の年の種籾確保のための村々小前百姓一同の必死の願いを読みとることができる。また当時の所要種籾の反当り分量等について具体的に知られる内容となっている。

この年かろうじて少々なりとも収穫できたものも不熟のいわゆる「しいな米」にて籾性悪く、種とすべきものが無いという有様、このため第一段の対策として身元よろしき百姓より借上げを仰せ付けられ、少々ずつの御手当はして貰えたものの、郡中一躰の凶作で思うにまかせず、このままでは来辰年の植付は困難、最早申すべき手段もないことが切々と記されている。

この裏には郡中一躰の凶作による米相場の高騰、さらには他領への米流出の制限等という状況があったことは申すまでもなかろう。身元よろしき百姓による貸与といっても良質の籾が多量にあったわけではなく、そのための代金の借用が可能であっても入手は容易なことではないはず。加えて「山中の村にて沢田、谷田にて稲再植付申さず候ては相ならず」という立地条件があった。

このため種籾の必要量は反当り一斗五升から二斗五升、平均して二斗宛は確保しなくては苗不足の事態を招くこととなる。」としている。「反当り二斗宛の積りをもって御拝借仰付け下され候はば有難き仕合せに存じ奉り候」と結ばれ、別紙反別書上帳添付の旨が追記、「白川郡赤坂郷村々」より「塙代官野村彦右衛門御役所」宛・天明三卯年十二月（一七八三）の年月が明記されている。

米が財政基盤の第一であった上、凶作による村々を何とかしなくてはならないことは幕政上でも火急の課題、春へ備えての種籾の確保は夫食と共に欠かせないことであろうこと今日といえども変らぬことではなかろうか。





お知らせ

役場　☎49-3111
鮫川村大字赤坂中野字新宿39-5

広報にあなたの写真が出ていたらご連絡ください。さしあげます。

豊かな老後のために―国民年金基金に加入を！

国民年金基金は、豊かな老後の生活を実現するために、基礎年金の上乗せ年金として平成3年5月に制度化された公的な年金です。

これは、厚生年金などの被用者年金制度のみに認められていた各種年金基金（上乗せ年金）を、国民年金の加入者のためにもと誕生したのが国民年金基金制度です。

この基金では、加入者のニーズに対応できるように、3つの基本型と6つの付加型が用意されています。自分の将来の生活設計に合わせて年金のタイプを選択できるのが、この基金の特徴です。

また、掛金や年金給付については、公的年金として税制上の社会保険料控除及び公的年金等控除の優遇措置の対象となります。

加入希望の方、詳しく知りたい方は、福島県国民年金基金（0245-23-3387）へお問い合わせください。

痴呆は治るのでしょうか・塙厚生病院主催講演会

塙厚生病院では、昨年から県の指定を受け、老人性痴呆疾患センターを設置しました。

老人性痴呆について理解を深め、適切に対応していただくため、次により講演会を開催しますのでお誘い合わせのうえ気軽にご参加ください。

◆講演
「痴呆は治るのでしょうか」

◆講師
福島県立医科大学
神経精神科
田子　久夫先生

◆パネルディスカッション
「痴呆老人の在宅介護のために」

◆日時　平成六年三月四日
午後一時三十分～
四時三十分

◆場所
塙町公民館（塙町桜木町）

◆入場料　無料

※講演会の問い合わせやご家庭に痴呆老人を抱え、ご相談のある方は塙厚生病院☎四三－二三二〇にお気軽にどうぞ。

家屋を建てた方とりこわした方は届けてください

固定資産税は、毎年一月一日現在で土地・家屋・償却資産を所有している人が、その固定資産の価格をもとに算定される税額を、その固定資産の所在する市町村に納める税金です。

家屋を新築・増築・改築又はとりこわした方は、総務課税務係に届けてください。

固定資産課税台帳縦覧

固定資産課税台帳の縦覧は、毎年三月に実施していましたが、今年は評価替えの年のため、四月に行いますのでお知らせします。

ＮＴＴ石川支店から

3月3日(木)午後0時30分から平田村(54・55局)玉川村(57局)地域のデジタル交換機更改工事に伴い切替時数分程度電話が不通になるため、平田村・玉川村地域への通話はできませんのでご協力お願いします。

あたたかいまごころありがとうございます

◎社会福祉協議会

○中内　中川西　寅夫様
亡父（利夫様）の遺志により
三〇、〇〇〇円

○馬生田　鏑木　長吉様
亡母（キエ様）の遺志により
五〇、〇〇〇円

◎さぎり荘

○二反田　大平　太平様
正月用しめ飾り

◎教育委員会

○平成六年初老会実行委員会会長　関根信一様
鮫川中学校図書整備費として
五〇、〇〇〇円

Hello エリックです

Hi（ハイ）, everyone（エブリワン）!

（みなさんこんにちは）

国際化は、ある国が私たちの結合された国際社会で成功を得るための大きな方策です。しかし、また、国際化が自分の国の文化を向上させる不可欠な要素でもあります。

他の国々について学ぶことによって、私たちは私たち自身の文化をもっとよく評価することができます。そして、私たちは絶えず変化することと成長することに挑戦させられています。

世界の他の地域を詳しく調べる上で、テレビや教科書の果たす役割は大きいです。しかし、究極的には、自分で旅をし、自分自身の目で見なければわかりません。

冬休みの間、私はタイの国ですばらしい2週間を過ごしました。景色の美しさ、文化や人々の美しさに驚きました。タイの人々は物質的に不足していることを、彼らのあたたかい心と明るい笑顔でカバーしていました。

私はタイの様子をじかに知ることができとても感謝しています。バンコックやチェンマイ、そして小さな山村の通りを歩くことだけでも、タイの精神を本当に感じることができます。

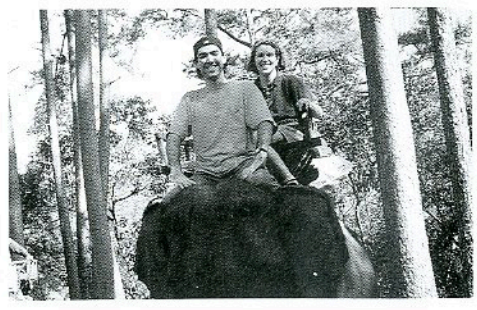
他の国や他の国の文化について学ぶことは道路地図を学ぶようなものです。道路地図はどこに何があり、そこへ行く方法を教えてくれますし、もし道に迷った場合でも私たちを助けてくれるのです。

しかし、道路地図は単なる平坦な表面上に引かれた細い線でしかありません。私たちは地図を使い、実際に道路をドライブしてみるべきです。さもなければ、地図は全く役に立たない宝物にしかすぎません!

See（シー） you（ユー） next（ネクスト） month（マンス）!

（また来月）

from Eric



文芸



俳句

福島市　中井　恒峯
手づくりの版画を入れて暦売

いわき市　金沢　暁舟
冬の鵙一と声朝の茶を啜る

反田　小山田清哲
砂を積むダンプ並びて十二月

大塩　矢吹　呂孝
柚子の香の湯煙り匂う冬至風呂

道少田　山本　朗史
月かげのこぼるる白さ大根凍つ

西山　矢部　正子
薄月を上げて鉄塔もがり笛

押目　北條素人坂
凶作田の湧き水探り暗渠掘る

二反田　大平　太平
友と言う支え失ない月迎ぐ

前沼　黒田　寿香
寒中の暖かい日よカラス鳴く

新宿　斎須　信子
真新しい観音像に絵馬かかる

横座　矢吹　茂
稔らない稲田も雪を被て眠る

道少田　山本五十鈴
暖かきこと有難き三が日

短歌

岫長　北條　平
日溜りの流れに摘みし芹少し七草がゆに香りを放つ

棚橋　関根　一好
若水に初茶を汲むもほろにがし独りの味の沁むる歳かも

中野町　赤坂　朝子
ウォーキングに老も若きも出でてゆく落葉かさこそ足に鳴らして

青生野　吉成　タカ
八十五歳の坂にかかりぬ杖などを新らしくして年の瀬を越す

岩野草　坂本　雪絵
都会食に飽きしか孫ら口々に畑の野菜たべたいと言う

大石草　鈴木イミ子
就職の決まりし娘の電話あり「農家育ちを買う」と言われしを

田苗下　蛭田　正
リズミカルなる音きこえくる台所嫁は明日に米をとぐらし

楢久保　森　芳子
稔らざる小田も荒らさず推肥にす落葉を今日も運びゆくなり

酒垂　石井　カヤ
ふと見ればエンコは口づけくり返すうらやましともしばし見ている

道少田　関根　京子
あの世での幸せ折り死刑囚の旅立ちの歌くりかえし詠む

越虫星　武
筆とれば一日の日足短かくて障子を染めし夕かげのいろ

田苗下　蛭田　浩市
高校生を見れば青春思い出す聖戦を信じて満州にありしを

大戸中　小松セツ子
凶作に戦時をしのぶ、芋粥をすすりて飢えをしのぎたる日も

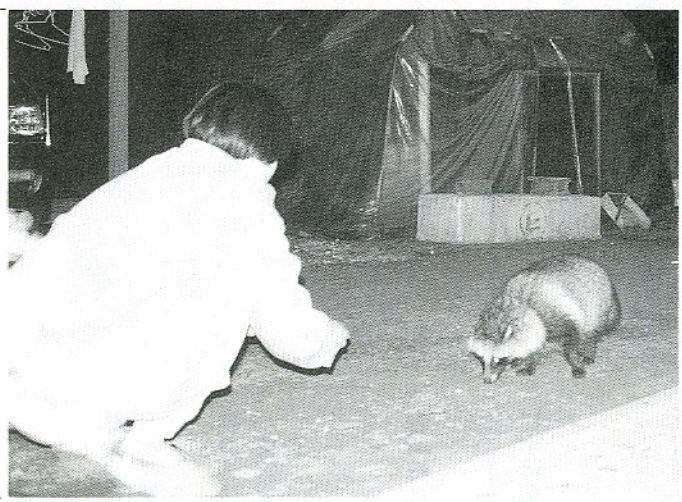
名下　須藤美代子
曇り日の海は灰色海猫の沖を見つめて並ぶ埠頭に

豊作を祈るかっくれい



1月14日　富田彦次郎地区の館山会（会員九人、青戸代吉会長）で小正月行事の「かっくれい」が行われました。六年前に館山会を結成して以来地域の伝統文化を継承するため、毎年行われています。正月についた餅を持ち寄り、炭火で焼きジュウネ等のたれをつけて田楽餅にして食べ、小正月を祝い、今年一年の無病息災と豊作を祈りました。

たぬきの餌付けに成功



鈴木一二さん（大字赤坂西野字大塩）のお宅に三か月前から「たぬき」が現われています。たぬきは体長五十五cmくらいのオスで、最近は家の人にも慣れ、ライトをあてても逃げずにえさを食べています。

盛会に東京鮫川会総会



1月30日　東京鮫川会の第八回総会が東京・新宿の住友ビルで行われました。総会には埼玉支部の会員の皆さんも含め六十六人が出席して盛会に開かれました。佐藤会長が「これからも更に会員相互の親睦を深め、ふるさと鮫川村との交流を図っていきたい」とあいさつを述べました。議事は全議案が満場一致で承認され、役員改選では会長に佐藤大助さん（遠ケ竜出身）をはじめ全役員が再選されました。総会終了後、地酒やまぶき等を味わいながら懇親会が開かれ、ふるさとの思い出話や近況報告等に話が尽きず、再会を喜びあいました。

フォトルポ・

文化財を火災から守る



1月23日　山村開発センター裏の八坂神社で消防団と棚倉消防署鮫川分署合同の文化財火災防御訓練が行われました。1月26日の全国一斉文化財防火デーにさきがけ行われたもので、午後二時、八坂神社から出火を想定し、訓練火災発生通報により出動した消防隊が機敏に消火活動を行いました。文化財保護とあわせ、防火の意識をより一層高めることができました。

おわいい鬼がいっぱい



2月3日　節分の日、渡瀬保育所で豆まきが行われました。子どもたちが自分で作った鬼の面をつけ、「泣き虫鬼」「おこりんぼ鬼」を退治しようと「福は内、鬼は外！」と大きな声で豆まきをしました。

応急処置を実践



1月31日・2月7日　ボランティア養成講座の応急処置法講座が行われました。棚倉消防署鮫川分署員を講師に迎え、ダミーを使ってのマウストゥマウス法を実践したり、やけどや骨折をしたときの応急処置について二回にわたり学びました。参加した二十人の方々は、ボランティア活動に役立てようと、熱心に取り組みました。



ふれあいひろば

ふれあいひろばは、村民のみなさんに登場していただくページです。
みなさんの意見、感想などもお寄せください。

わが家のアイドル



湯坐香子（ゆざきょうこ）ちゃん

（平成３年９月13日生）

湯坐純隆・寿恵さんの長女

（大字赤坂中野字新宿）

〝天真爛漫〟そんな言葉がぴったりの女の子です。お兄ちゃんが学校から帰って来ると、おすもうをとったりジャンパーソンごっこをしたりして遊びます。元気で明るく心の優しい女の子になって欲しいと思います。

（おかあさん）

― 東京鮫川会報から ―

ふるさとの匂いを大切に



岡部紘一さん

（町田市在住・前沼出身）

私は七年前開催の「東京鮫川会結成総会」に参加して以来、昨年の総会に六年ぶりで参加し懇親・交流を図って参りました。

そこには久しぶりに〝ふるさと鮫川〟のなつかしい匂い、そして大都会の一か所に凝縮された我が心の故郷・鮫川にふれあうことができた心地さえしました。左右に座わった人、目の前の人達と酒をくみかわしながら語る田舎の想い出話、そこで飛び交うなつかしい田舎弁。時間がいくらあっても足りない感じでした。知らない方達ばかりでしたが、村内にあるいくつかの小学校、そして鮫中で学んだ先輩、同級生、後輩であることを考えれば、この会は私にとって鮫川の同窓会でもあり、発起人の方々には厚く御礼を申し上げたいと思います。

私は鮫川を後にし、東京に来て早いもので今年の四月で三十二年になります。東京という大都会での生活で感じたことは、田舎のような人情味のある人づきあいが余りにも少ないことであり、また、そんな都会生活にどっぷりつかってしまった自分を顧りみた時、やはりさみしい思いがこみあげてきました。

そんな時、東京鮫川会結成総会の便りが届き、出席して久し振りに先輩、後輩に会った語らいは、永い都会生活の中では味わったことのないものでした。

今後共、この会の集いを大切にし、そして東京鮫川会が永遠に続き、益々発展していくことを祈念しております。

わたしたちの職場です ⑳



わたしたちの職場、東白工業株式会社は、昭和49年、重機工事（農業土木）専門として創業し、平成４年５月に株式会社となりました。

土木、舗装、重機工事、農業土木工事が業務で、村内の仕事が全体の60パーセント程度です。

社員は18人で、うち女性が４人です。平均年齢は50歳ですが、パワーあふれる職場です。

作業は２～３班にわかれて行うため、全員で顔をあわせることの少ない職場ですが、年１回の二泊慰安旅行や忘年会、うまいもの祭りにいも煮会として全員で参加し楽しんで親睦を図っています。

冬の寒さは特にきついですが、みんなで協力しあいがんばっています。



東白工業株式会社

大字赤坂東野字大石草137 ☎49－2522

●●・ふたりでバトンタッチ～㉝・●●



高木義男 ♡則子さん

（大字赤坂中野字薄ケ久保）

義男さんは、高木好勝さんの長男、則子さんは古殿町の出身で、昭和六十二年二月二十二日結婚式を挙げました。

おふたりは、結婚前に勤めていた会社で知り合い、四年間の交際を経てゴールインしました。

義男さんは則子さんの〝やさしいところ〟に、則子さんは義男さんの〝やさしくて頼りがいのあるところ〟にひかれたそうです。

長男大輔くん（五歳）、二男涼くん（二歳）に恵まれ、現在義男さんは棚倉町の日本精工㈱に勤め、則子さんは育児に専念しています。

〝健康で明るい家庭を築きたい〟というおふたり。

どうぞいつまでもおしあわせに。

高木さんの紹介で

次は

石井幸一 ♡貞子

さんです



雪や氷の上は滑ってアタリマエ！ 冬道を安全に走りましょう

急ブレーキを使わずにソフトブレーキで◎カーブはスローインで◎下り坂はエンジンブレーキを。

今月の人口

（1月1日現在）

（人口）	（男）	（女）	（世帯）
5,222人（＋2）	2,575人（－2）	2,647人（＋4）	1,131戸（－1）

こちら窓口

お誕生おめでとうございます

住所	赤ちゃんの名前	月/日	保護者
下野町	吉田 由美（よしだ ゆみ）	12/31	吉田 喜満
福原	芳賀 理美（はが さとみ）	1/5	芳賀 治男
辺栗	生田目未歩（なまためみほ）	1/11	生田目良則
二本田	酒井 泰宏（さかい やすひろ）	1/13	酒井 勇寿

おくやみ申し上げます（12/21から1/20までの届出）

住所	亡くなられた方	年齢	世帯主
中内	中川西利夫	88	中川西寅夫
馬生田	鏑木 キエ	81	鏑木 長吉

防火の輪 つなげて広げて なくす火事
春季全国火災予防運動
3月1日～3月7日

今月の納付

国民年金保険料
納期限 2月分 2月25日

ゴミは収集日に出しましょう

収集場所	種別	2月	3月
江竜田～中野町～福原～田尻橋～反田～鍬木田～前沼～広畑～役場～鮫川保育所～農協前～農協倉庫～給食センター～道少田～教員住宅～伏木田～大塩コース	可燃物	3.7.10.14 17.21.24.28	3.7.10.14 17.24.28.31
	不燃物	25	11.25
さぎり荘～村営住宅コース	可燃物	3.7.10.14 17.21.24.28	3.7.10.14 17.24.28.31
	不燃物	9.23	9.23
鮫川分校（可燃物木曜のみ）～鮫川中学校コース	可燃物	3.7.10.14 17.21.24.28	3.7.10.14 17.24.28.31
	不燃物	10.24	10.24
関下～越虫～丸谷地～赤小名入口～青生野小学校～世々麦～葉貫～戸草～蕨ノ草～中沢入口～中沢～関口コース	可燃物	2.9.16.23	2.9.16.23.30
	不燃物	9.23	9.23
真坂～寅卯平～西部集落センター～茅～本坂～酒垂～滑石～塚本～塩倉～荻ノ沢～折戸～宝木～水口～落合～宮沢コース	可燃物	2.9.16.23	2.9.16.23.30
	不燃物	10.24	10.24
官代～楢久保～遠ケ竜～大石草～大根屋敷～内ケ竜コース	可燃物	2.9.16.23	2.9.16.23.30
	不燃物	25	11.25
石井草～前田～大久保～鬼越～戸倉～赤柴～菅田～大沢入口～余所内～沼野沢～岩野草～鍛治平～薄ケ久保コース	可燃物	2.9.16.23	2.9.16.23.30
	不燃物	18	18

休日のお医者さん

月日（曜）	棚倉町	塙町	石川町
2月11日(金)	藤田医院	車田病院	大竹眼科医院
13日(日)	あらまちクリニック	根本整形	中島病院
20日(日)	杉山医院	厚生病院	大野病院
27日(日)	和田医院	—	石川中央医院
3月6日(日)	勝田医院	石川医院	務川医院
13日(日)	藤田医院	—	中島病院

心配ごと相談

2月21日(月)
午前10時～午後3時
山村開発センター

なお、午後1時から午後3時までは、弁護士が相談を受けますので、ご利用ください。

＝あとがき＝

♥長期予報では暖冬とされていたこの冬は厳しい寒さとなりましたが、今年の夏こそ照りつける太陽の恵みをうけたいですね♥立春を過ぎても雪景色。春が待遠しいですね。